

## 【基盤研究(S)】

### 人文社会系 (社会科学)



#### 研究課題名 政治構造変動と圧力団体、政策ネットワーク、市民社会の変容に関する比較実証研究

筑波大学・大学院人文社会科学部研究科・教授 つじなか ゆたか  
辻中 豊

研究分野：政治学

キーワード：比較政治、市民社会、圧力団体、政策ネットワーク、政治変動

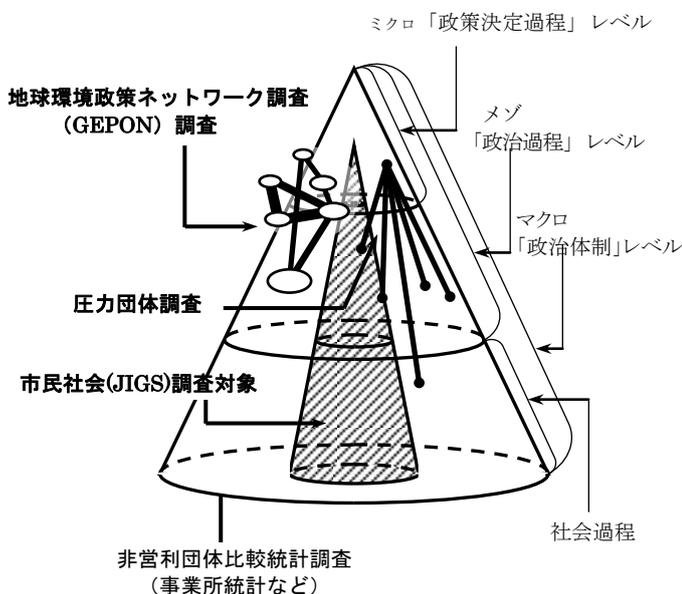
#### 【研究の背景・目的】

日本における政権の変動、公共政策の変化といった一連の政治変動が、どのような衝撃を、政策過程や市民社会に与えるかを、複数レベルの調査を行い検証する。政治構造が実質的に変化したとすれば、最初に中央政府や政党と緊密な関係を有し利益の確保に努力する圧力団体の態度に変容が生じ、それとともにアクター間の政策ネットワークが変容し、さらに分権改革とともに地方政府や草の根の市民社会に波及すると予想される。本研究は順次、1) 圧力団体、2) 政策ネットワーク、3) 地方政府・市民社会を体系的に調査し、圧力団体、政策ネットワーク、市民社会の3レベルから日本政治の構造変動と政治・社会関係の変容を比較政治的に解明することを目的とする。世界の学界において、政治と社会の相互規定性やそれによる変動は常に議論されるが、比較実証され、検証されることは少ない。時系列的な比較やいくつかの側面からの立体的な実証研究も稀である。今回は2009年以後の現代日本を素材にそれを行う。

#### 【研究の方法】

国際的に「一党優位政党制以後」および13カ国市民社会比較、さらに既存の日本市民社会・地方政府データから、仮説を設定する。次いで、中央の圧力団体調査、地球環境政策ネットワーク調査、4種類の市民社会組織と地方政府の調査を各年に行い、諸仮説を比較によって検証していく。

#### 3種の関連調査図



#### 【期待される成果と意義】

これまでの仮説と予測される結果から、意義を述べると、1) 3次の圧力団体調査からは、政党の勢力配置など政治変動の対社会主導性、つまり政権交代の大きな社会へのインパクトが示唆されている。2) 政策ネットワーク調査からは、自民党優位体制下で比較政治的にみた日本のアクター関係の「少数固定性」が顕著であったが、2009年以後の新体制において、アクターのシフト、流動化が予想される。ネットワーク形も労働やNGO、専門家セクターへの拡大など構造変化も予測される。3) 市民社会組織・地方政府調査から、それがどの程度、全国的に地方レベルまで浸透したかが確認される。以上から、現代日本の今後の政治シナリオやその安定性が予測可能となり、新体制の比較政治理論的な位置づけを行うことができる。

#### 【当該研究課題と関連の深い論文・著書】

Yutaka Tsujinaka, "Civil Society and Social Capital in Japan," in Anheier, Helmut and Toepler, Stefan, eds. *International Encyclopedia of civil society*. Springer, 2009:252-259. 辻中豊・森裕城編『現代社会集団の政治機能』木鐸社2010年. 辻中豊・伊藤修一郎編『ローカル・ガバナンス』木鐸社2010年. 辻中豊・ロバート・ペッカネン・山本英弘. 『現代日本の自治会・町内会』木鐸社, 2009年. Yutaka Tsujinaka. "From Developmentalism to Maturity: Japan's Civil Society Organizations in a Comparative Perspective," in Frank Schwartz and Susan Pharr (eds.). *The State of Civil Society in Japan*. Cambridge University Press 2003, pp.83-115. Knoke, David. Franz Urban Pappi, Jeffrey Broadbent and Yutaka Tsujinaka. *Comparing Policy Networks: Labor Politics in the U.S., Germany, and Japan.*, University of Cambridge Press, 1996. T.J. Pempel ed. *Uncommon Democracies: The One-Party Dominant Regimes*, Cornell University Press 1990. 村松岐夫・伊藤光利・辻中豊『戦後日本の圧力団体』東洋経済新報社1986年, 辻中豊『利益集団』東京大学出版会1988年

#### 【研究期間と研究経費】

平成22年度-26年度  
116,200千円

#### 【ホームページ等】

<http://tsujinaka.net/>  
<http://tsujinaka.net/tokusui/>  
[yutaka-tsuji@u.tsukuba.ac.jp](mailto:yutaka-tsuji@u.tsukuba.ac.jp)